

(様式 A)

平成20年度 教育企画部門 事業計画及び予算要求調書

主査理事：

上田 茂

I. 事業計画

20年度事業計画等	事業計画： 各教育課程(大学・大学院、高専、高校)における土木教育の実態・課題把握及び対策検討に加えて、JSCE2005で提示された土木技術者の生涯にわたる学習継続の重要性に鑑み、教育機関、学会、民間、官庁を含めた一貫性ある技術者教育・学習システムの提案を行うために、土木界に求められる人材と教育について俯瞰的な検討を行う。なお、19年度後半に新設した「成熟した土木技術者の活躍促進」、「産業界の意見の教育界への反映」の両小委員会を本格展開すると共に、エンジニアリングデザイン教育の普及、小学校の総合学習支援、男女共同参画の推進などを対象として、調査研究から政策提言に至る活動展開を志向する。活動成果を積極的に情報発信する。
	自己評価の反映概要： 各教育課程についての実態調査に基づき、それから導き出される課題について検討を進め、それによる高校から大学院までを通じた技術者教育・学習システムの検討を行う必要がある。 その他 新規事業の項目と予算要求額： ・成熟した土木技術者の活躍促進に向けた検討・提案 ・産業界の教育界に対する要望調査と、その結果の教育改善への反映 予算要求額： 200千円 経費の節減： 50千円(平成20年度収支差 -平成19年度収支差、+は改善)
21年度事業計画	事業計画： 優秀な若者が高い志を持って土木界に入ってくるようにすること、土木専攻の学生や土木技術者が社会の要請に応えるべく学び続けて成長できるようにすること、女性や成熟した技術者など多様な人材が土木界で活躍する場を増やすこと、等を基本的な目的とし、引き続き土木界に求められる人材と教育に関する調査研究から政策提言に至る活動展開を図る。活動成果のタイムリーな情報発信に注力する。
22年度事業計画	事業計画： 21年度と同じ
3か年計画実現のための方策	目標達成のために制度上の制約、必要な改善、初期投資事項の提案： 建設界を取り巻く環境が大きく変化する中で、社会に求められる人材及び教育を検討するために、新しい視点や課題を積極的に取り入れ、新たな小委員会を柔軟に設置・展開する方針を採用している。限られた財源の中で、継続小委員会の見直しや各小委員会間の活動連携等、効率的な運営を心がけるが、新規取組みに関しては柔軟な予算配分をお願いしたい。 目標達成のために他部門あるいは理事会等から得たい協力事項： 委員会活動の効率的な運営のために、ホームページ上での特定グループ内での情報共有化が容易に行えるようにする等、情報インフラ整備の充実をお願いしたい。

II. 予算要求額

一般会計

収入の部

単位:千円

科 目	22年度 見込	21年度 見込	20年度 予算案	19年度 予算	18年度		備 考
					決算	予算	
1. 事業収入	(400)	(400)	(400)	(300)	(214)	(420)	
(1) 行事収入	(400)	(400)	(400)	(300)	(214)	(420)	
①夏期講習会	240	240	240	180	156	300	
②高専・短大教育シンポジウム	0	0	0	120	58	120	
③シンポジウム「成熟シビルエンジニアの活	160	160	160	0	0	0	
当期収入合計	400	400	400	300	214	420	

支出の部

科 目	22年度 見込	21年度 見込	20年度 予算案	19年度 予算	18年度		備 考
					決算	予算	
1. 事業費	(2,902)	(2,902)	(2,902)	(2,960)	(2,907)	(3,086)	
(1) 行事費	(2,750)	(2,750)	(2,750)	(2,790)			
①夏期講習会	192	192	192	144	120	240	
②高専・短大教育シンポジウム	0	0	0	96	36	96	
③シンポジウム「成熟シビルエンジニアの活	130	130	130	0	0	0	
(2) 教育企画調査費	(2,580)	(2,580)	(2,580)	(2,720)	(2,751)	(2,750)	
①教育企画・人材育成委員会	(2,428)	(2,428)	(2,428)	(2,550)			
	2,580	2,580	2,580	2,720	2,751	2,750	
	2,428	2,428	2,428	2,550			
当期支出合計	2,902	2,902	2,902	2,960	2,907	3,086	
	2,750	2,750	2,750	2,790			

収支差	△2,502	△2,502	△2,502	△2,660	△2,693	△2,666	
	△2,350	△2,350	△2,350	△2,490			